

2016年3月期 決算説明会

2016.6.8



カーリットホールディングス株式会社

CODE : 4275

本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役会長兼社長 出口 和男
創 業	1918年	設 立	2013年10月1日
資本金	2,099,530,000円	従業員数	連結 967名
発行済株式数	24,050,000株 (1 单元100株)	单元株主数	30,983名

(2016年3月31日時点)

<2016年3月期 売上構成比>



2016年3月期 決算概要

外部環境

経済動向

(上期) 緩やかな回復基調 ⇒ 株式市場堅調・円安傾向

(下期) 逆風 ⇒ 世界経済の停滞・新興国の減速・円高傾向

原油、資源価格 ⇒ 下落

設備投資 ⇒ 堅調

公共工事 ⇒ 中長期に縮小傾向

内部環境

事業領域の拡大

スタッド事業譲受

合成樹脂原料進出

スタッド工事



樹脂成形品一例



5月15日

株式給付信託（BBT）の導入

8月7日

水力発電所の更新



9月30日

スタッド事業の譲受

4月

5月

6月

7月

8月

9月

6月8日

決算説明会

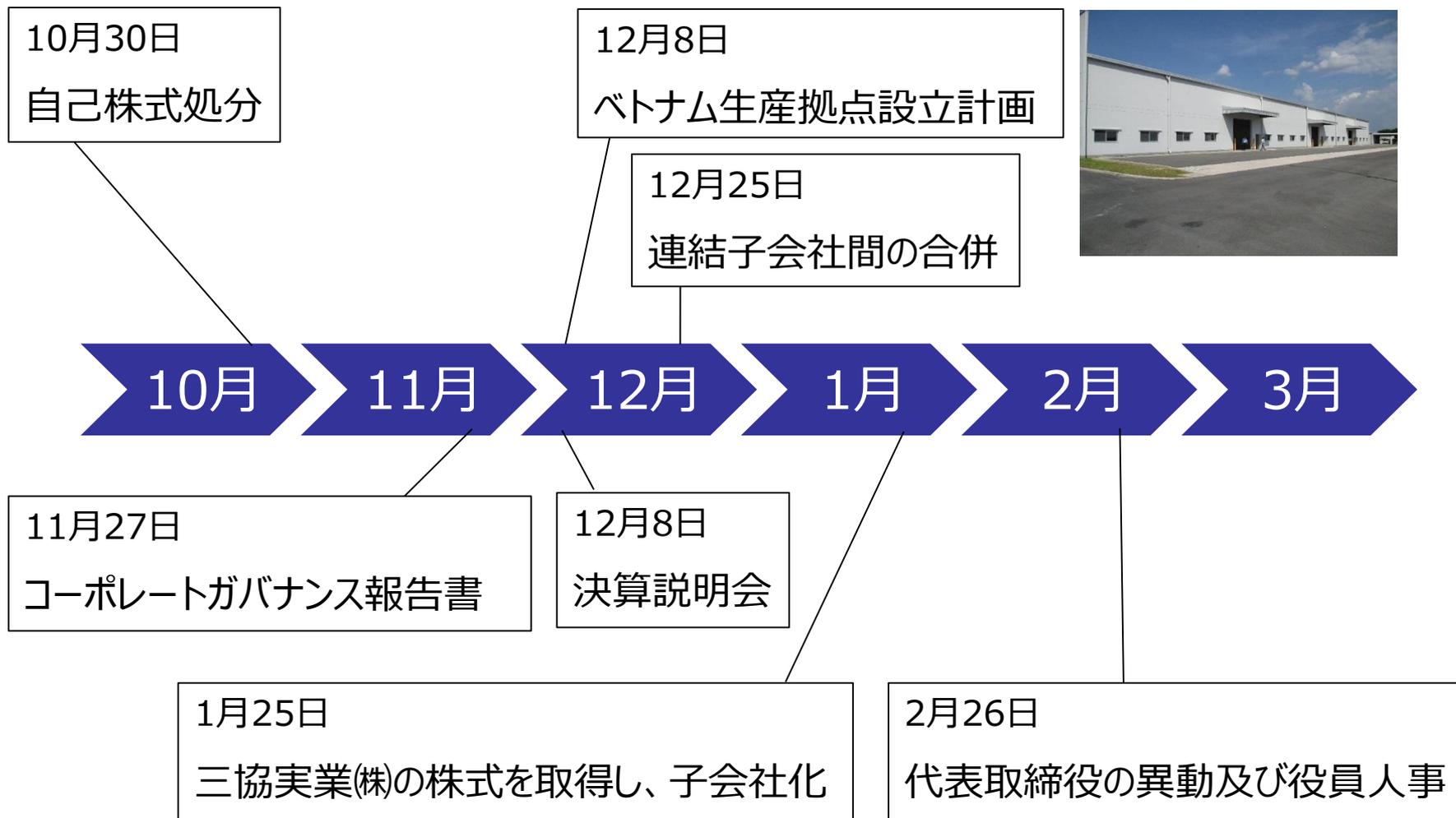
7月6日

新株式発行及び株式売り出し
サーモグラフィー用材料分野へ参入



8月10日

発炎筒の日に制定



(単位：百万円)

	2016年3月期 上半期実績	2016年3月期 下半期実績	2016年3月期 通期実績	2015年3月期 通期実績
売上高	22,658	23,720	46,378	46,109
売上原価	19,380	19,858	39,239	39,288
率	85.5%	83.7%	84.6%	85.2%
販売費及び一般管理費	2,840	3,049	5,889	5,621
率	12.5%	12.9%	12.7%	12.2%
営業利益	437	812	1,250	1,199
率	1.9%	3.4%	2.7%	2.6%
経常利益	479	851	1,330	1,317
率	2.1%	3.6%	2.9%	2.9%
純利益	266	487	754	1,064
率	1.2%	2.1%	1.6%	2.3%

売上高…化学品 ➡ ボトリング ➡ 産業用部材 ➡

利益…純利益 ➡ (固定資産売却益を計上した前年同期に比べ減益)

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2016年3月期			前 期	2016年3月期			前 期
	上半期	下半期	通 期		上半期	下半期	通 期	
化学品	8,876	9,481	18,357	16,411	248	399	647	372
ボトリング	8,936	8,852	17,788	19,113	108	305	414	154
産業用部材	4,310	4,597	8,907	9,151	39	56	96	451
セグメント計	22,123	22,931	45,054	44,675	396	761	1,158	979
連結合計	22,658	23,720	46,378	46,109	437	812	1,250	1,199

化学品 ⇒ 三協実業が新規連結寄与。過塩素酸アンモニウム、電池試験増販。

ボトリング ⇒ 一部取引先の会計処理方法の変更により、減収。生産増により、増益。

産業用部材 ⇒ 中国経済減速の影響により、減収減益。

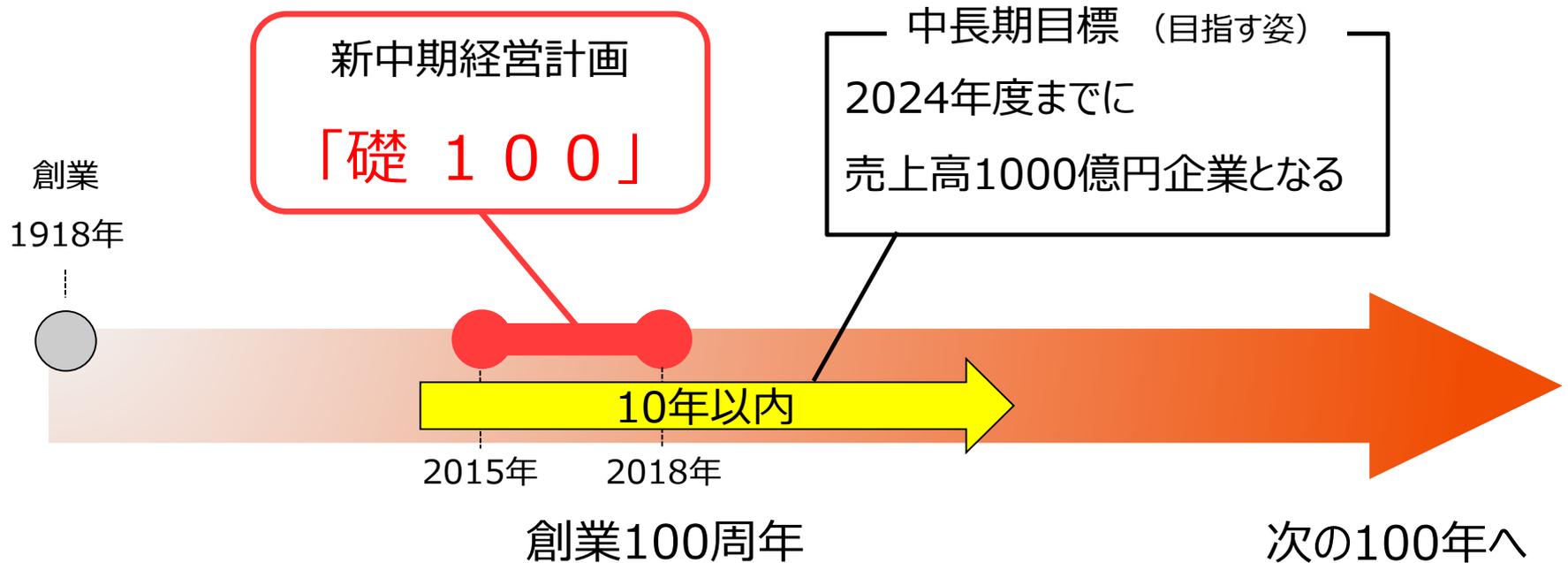
(単位：百万円)

	2015年 3月31日	2016年 3月31日	差異		2015年 3月31日	2016年 3月31日	差異
資産の部				負債の部			
現金及び預金	2,888	4,871	1,983	支払手形及び買掛金	5,774	5,681	△92
受取手形及び売掛金	9,976	10,100	123	長短借入金	9,776	9,595	△180
棚卸資産	3,932	4,214	281	その他負債	8,824	9,014	189
その他流動資産	1,434	1,639	205	負債合計	24,374	24,291	△83
有形固定資産	18,574	18,032	△541	純資産の部			
無形固定資産	754	776	22	株主資本	17,765	20,107	2,341
投資その他	7,439	7,093	△346	その他の包括利益 累計額等	2,858	2,330	△528
				純資産合計	20,624	22,437	1,812
資産合計	44,999	46,728	1,729	負債純資産合計	44,999	46,728	1,729

新株式発行により17億89百万円を調達し、うち8億94百万円を資本金に充て、
新資本金20億9,953万円となり、自己資本比率は前期末の45.8%から48.0%となる

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期		
営業活動による キャッシュ・フロー	968	2,294	償却前利益	3,026
			法人税等の支払額	△716
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,176	△795	固定資産の取得による支出	△868
財務活動による キャッシュ・フロー	△289	424	株式の発行による収入	1,789
現金及び現金 同等物の増減額	△454	1,901	有利子負債の増減額	△1,004
現金及び現金 同等物の期首残高	3,341	2,886	配当金の支払額	△201
現金及び現金 同等物の期末残高	2,886	4,788		



テーマ

- ①2018年の創業100周年を迎え、更に次の100年企業の礎となる事業基盤の確立
- ②グループ中長期目標（売上高1000億円）到達への道のりを確固たるものにする

売上高

650億円

営業利益率

5%

営業利益

35億円

設備投資計画

200億円
(4年間合計)

新品・新規事業

高エネルギー分野
環境エネルギー分野
ライフサイエンス分野
無機機能材料分野

周辺・注力事業

推進薬原料
新電極
機能材料
総合安全評価試験
ボトリング

既存事業

インフラ整備
既存商品のコスト削減
高付加価値製品の拡販

成長基盤強化

収益基盤強化

G 経営基盤強化

新品・新規事業創出

海外市場開拓・海外生産拠点

コスト削減での領域拡大

従来技術の深堀と新材料の融合

売上高

650億円

営業利益率

5%

営業利益

35億円

設備投資計画

200億円
(4年間合計)

成長
基盤強化

収益
基盤強化

グループ経営
基盤強化

研究開発

遠赤外線光学材料

バイオリファイナリー製品

スタッド事業参入 (並田機工)

ベトナム進出 (並田機工)

三協実業買収

設備増強

過塩素酸アンモニウム (日本カーリット)

信号炎管 (日本カーリット)

塗装ライン (富士商事)

水力発電所更新着手 (日本カーリット)

コーポレートガバナンスコード策定

組織再編

社外取締役増員計画

2017年3月期 業績予想

外部環境

経済動向

中国・新興国経済の下振れ、為替変動リスク

先進国経済 ⇒ 緩やかに回復予想

設備投資 ⇒ 減少見込

内部環境

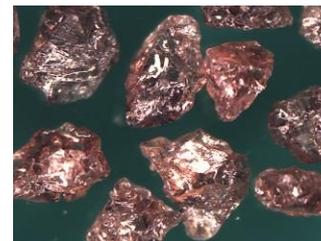
成長への足場固めのための研究開発

将来の売上に繋がる先行投資

広桃発電所更新工事着工

組織再編（連結子会社間の合併）⇒ 日本カーリット + 日本研削砥粒 + 第一薬品興業

旧日本研削砥粒
研削砥石原料



旧第一薬品興業
煙火材料



(単位：百万円)

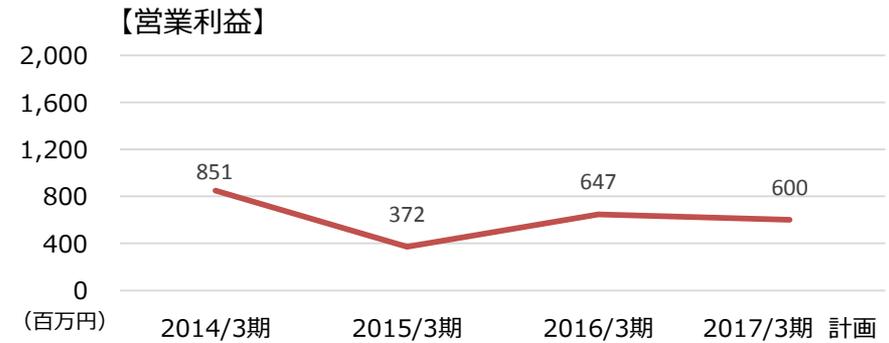
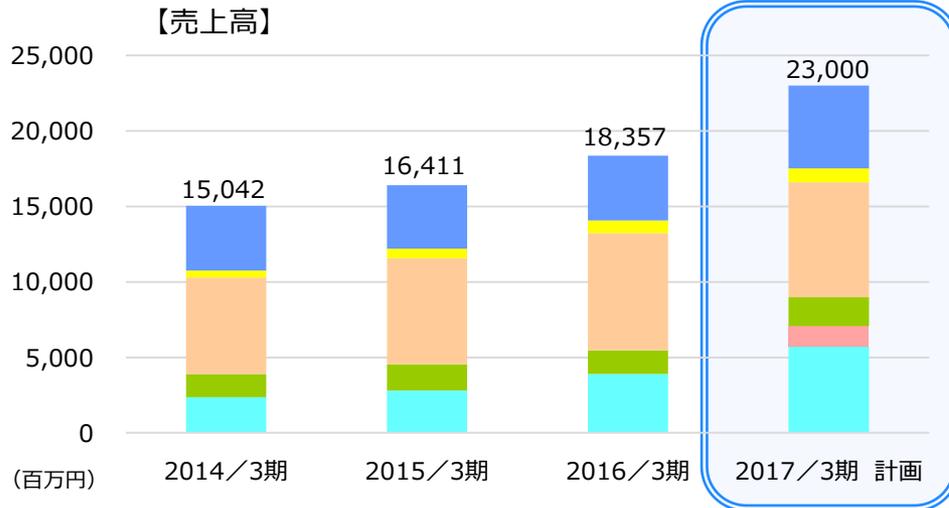
	売上高		営業利益	
	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画	2016年3月期 実績	2017年3月期 計画
化学品	18,357	23,000	647	600
ボトリング	17,788	17,500	414	400
産業用部材	8,907	8,500	96	300
報告セグメント計	45,054	49,000	1,158	1,300
連結合計	46,378	51,000	1,250	1,200
		経常利益	1,330	1,300
		純利益	754	650

売上 ⇒三協実業の新規連結寄与、組織再編によるセグメント移行

利益 ⇒先行投資・研究開発費増等が利益を圧迫

セグメント別

<化学品事業>



トピックス

- ・危険性評価設備増強に向けたインフラ整備
- ・高速道路用LED対応商品拡販

化薬分野

- ➡ 産業用爆薬…土木案件の囲い込みにより微増
- ➡ 信号用火工品（発炎筒関連）…新車装着向けの減販を車検交換向けが補う

受託評価分野

- ➡ 危険性評価試験…L i Bの試験増により堅調を維持
- ➡ 電池試験…L i Bの需要堅調に伴う安定稼働

化成品分野

- ➡ 塩素酸ナトリウム…シェアアップによる増販
- ➡ 過塩素酸アンモニウム…ロケット向け需要が引き続き堅調
- ➡ 過塩素酸…アジア向け輸出強化により増販

電子材料分野

- ➡ 機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品…輸出向け堅調
- ➡ 電気二重層キャパシタ用電解液・アルミ電解コンデンサ向け材料…海外展開強化により増販

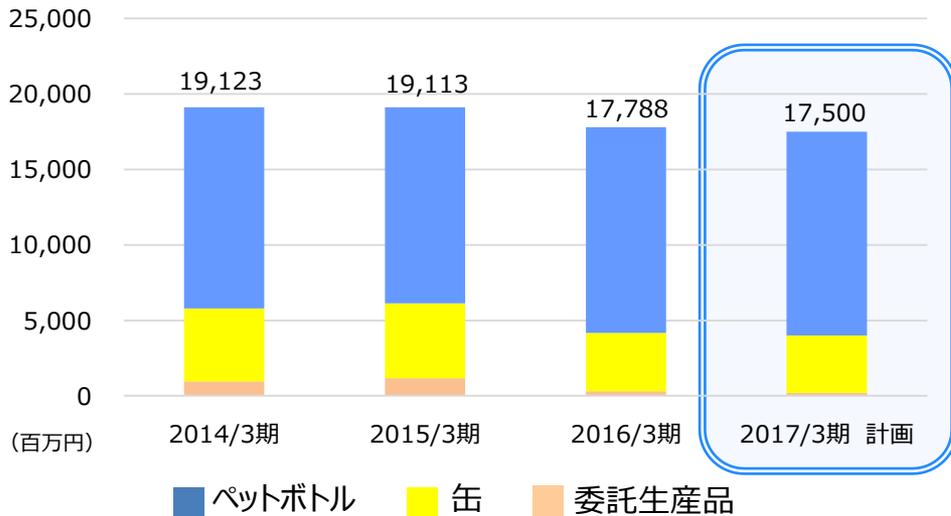
セラミック材料分野

- ➡ 研削材…販売先拡充による増販

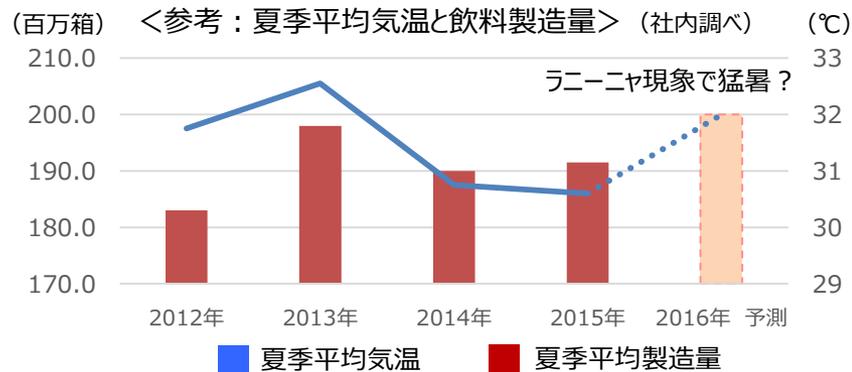
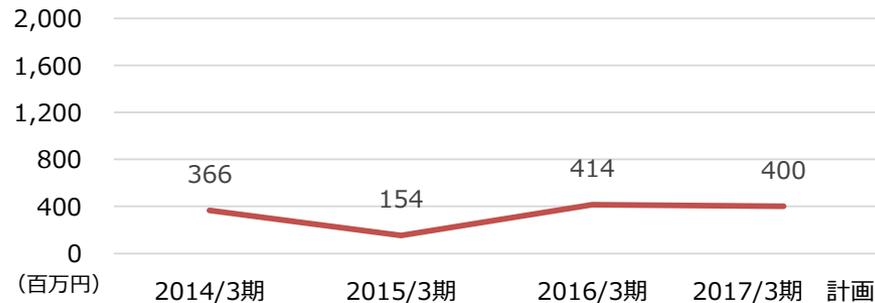
その他

- ➡ 三協実業…通期で連結業績に寄与

【売上高】



【営業利益】



➡ 売上・利益…ライン増強のための稼働停止



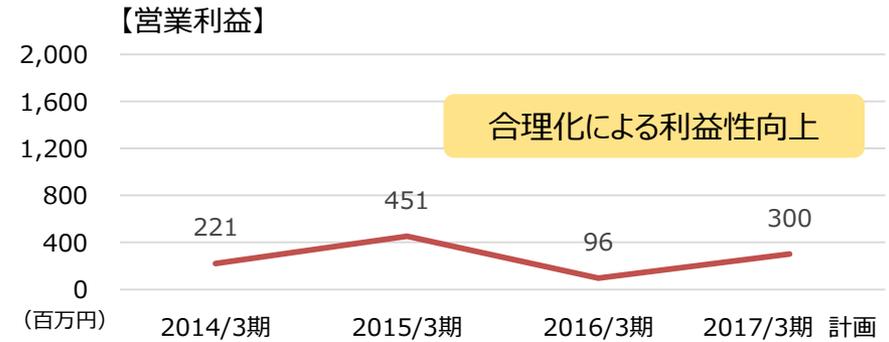
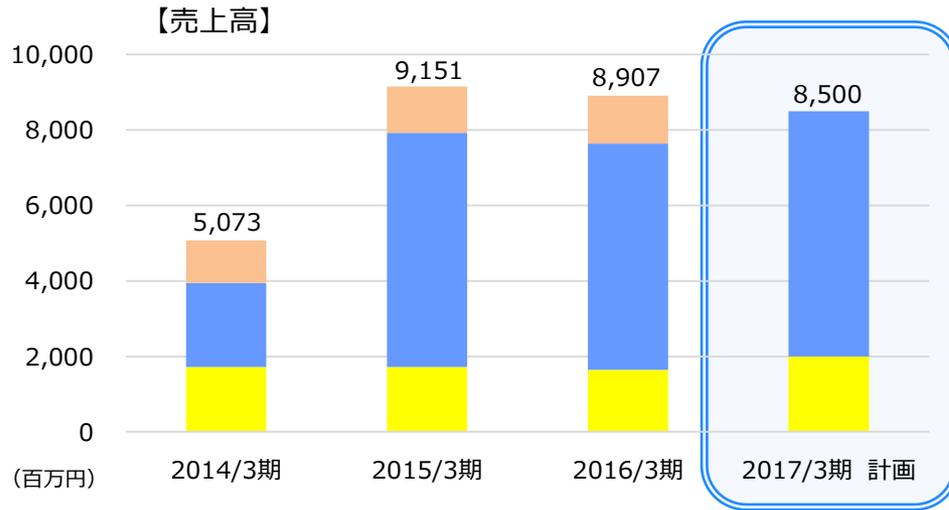
工場全景



主要商品

セグメント別

<産業用部材事業>



※組織再編により、今期から研削材分野はセラミック材料分野として
化学品セグメントに移動

シリコンウェーハ分野

➡ シリコンテクノロジー
…周辺製品の拡充・光学材料分野への進出



シリコンウェーハ

金属加工分野

➡ 東洋発條…自動車業界向け拡販
➡ 並田機工・アジア技研
…スタッドとスタッド工事の内製化



平座金



アンカーメタル (耐熱炉内金物)



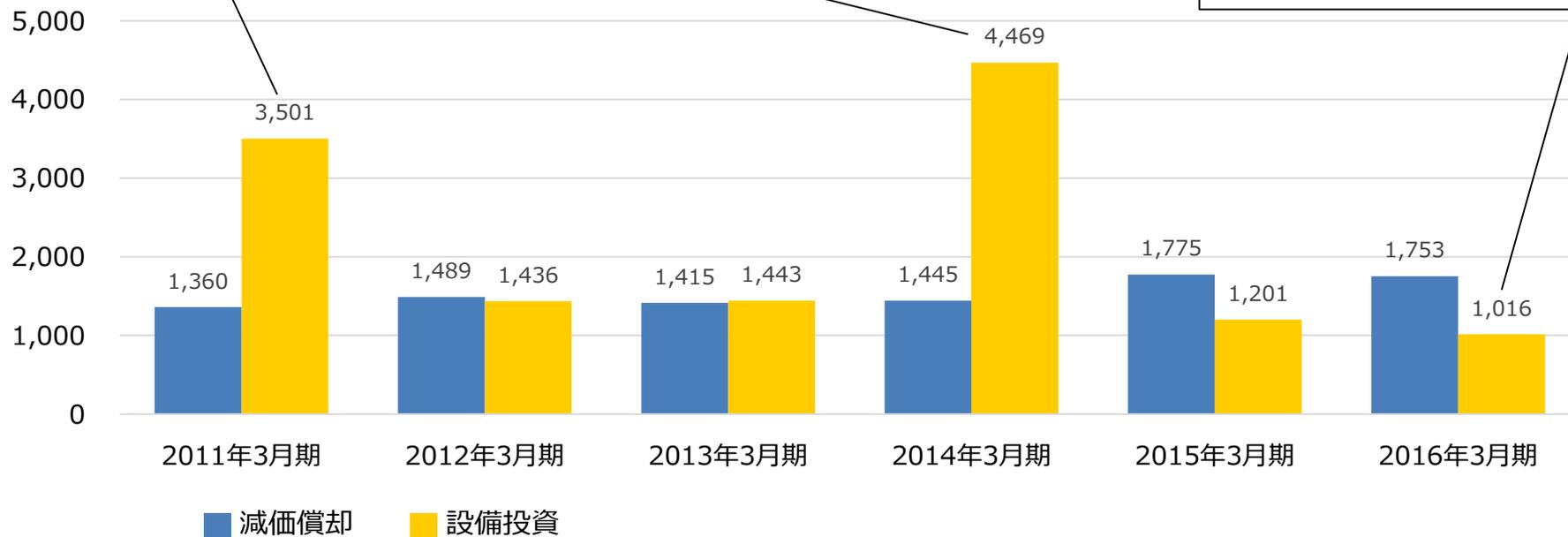
スタッド溶接

化学品
過塩素酸製造設備
ボトリング
温水無菌充填システム

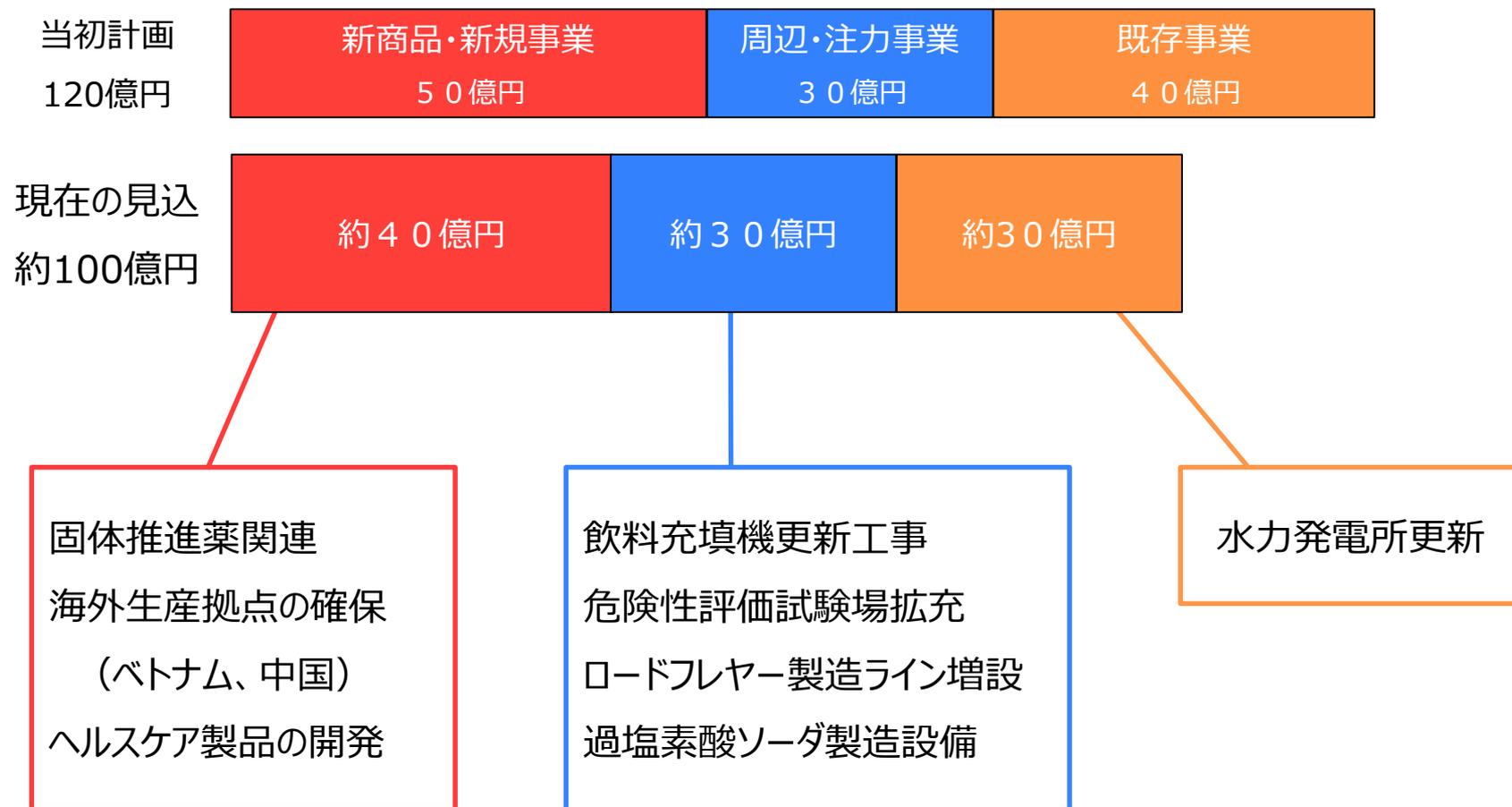
化学品
過塩素酸製造設備
電池試験所新設
太陽光発電システム
高齢者用マンション（賃貸設備）
ボトリング
製品倉庫増設

化学品
信号炎管製造設備
推進薬原料増産設備
産業用部材
新会社（アジア技研）設立
海外展開
新商品・新規事業開発

(単位：百万円)



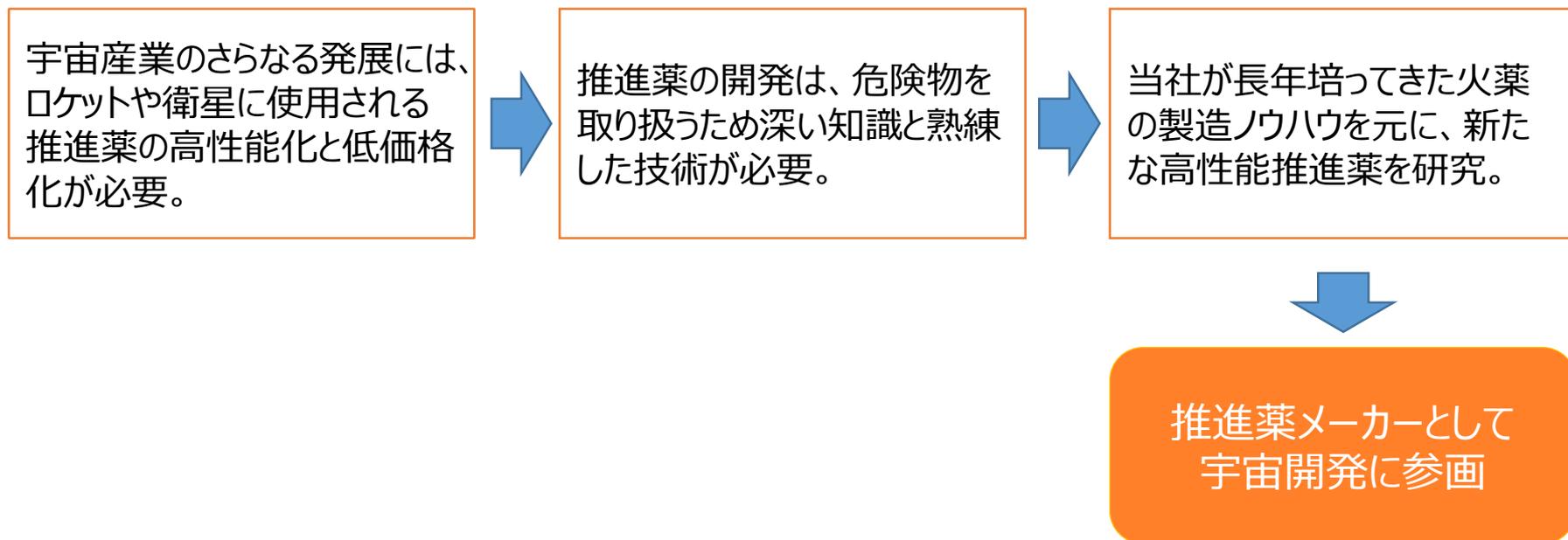
2015年度～2016年度（着工ベース）



【開発テーマ】 固体推進薬関連の開発



開発ストーリー



【開発テーマ】 次世代電池材料の開発



開発ストーリー

高容量二次電池の需要は、家庭および産業用の蓄電池としてだけでなく、EVなどの車載用途が急増している。



二次電池のさらなる普及拡大のためには、高い安全性と特殊環境（高温、低温）で使用可能な次世代電池が必要。



自社の電解液材料の開発技術を活かし、様々な電池特性を持つ、次世代電池向けの材料を開発する。



次世代電池材料による
環境エネルギー問題の
解決

【開発テーマ】 遠赤外線カメラ用レンズ材料の開発



開発ストーリー

サーモグラフィー分野（自動車・セキュリティー・エネルギー・マネジメント）における遠赤外線カメラ需要の拡大が予測される。



レンズや窓材に使用される既存の原料が希少で高価なため、普及拡大の妨げになっている。



安価で大量供給が可能なシリコン材を使用し、自社技術によって高性能な遠赤外線用光学材料を開発。

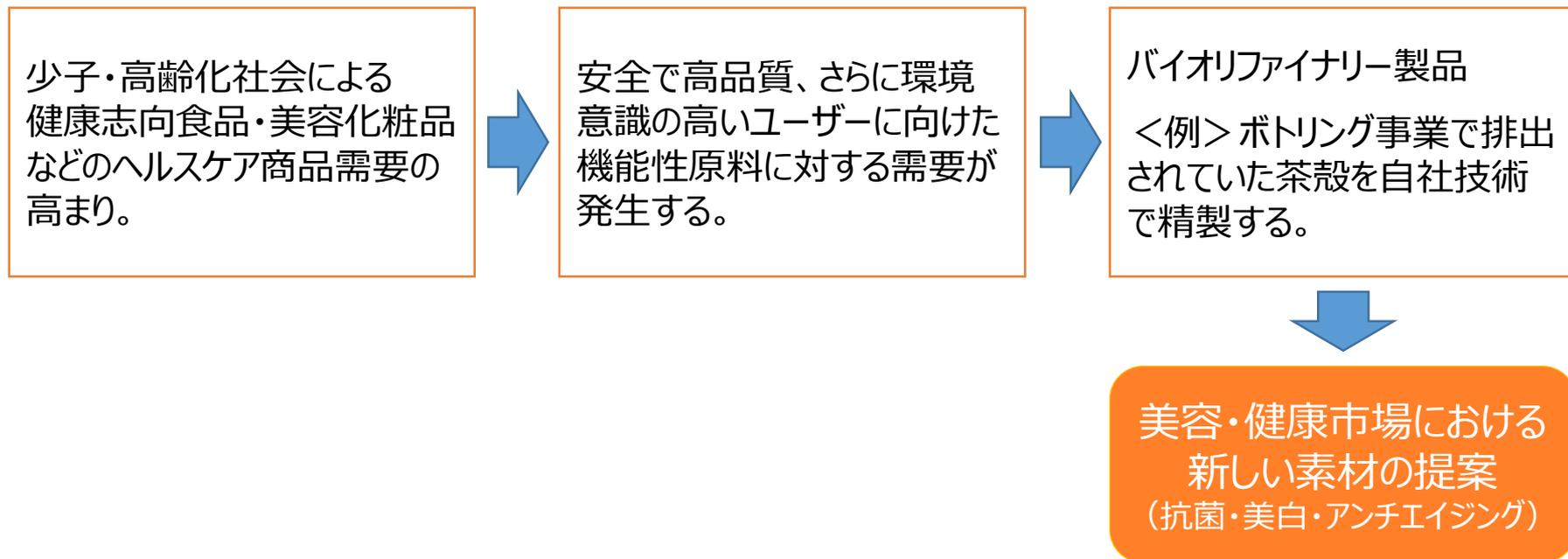


サーモグラフィー分野でのIT社会への貢献

【開発テーマ】ヘルスケア製品の開発



開発ストーリー



ポリスチレン樹脂メーカー



商号	三協実業株式会社
事業内容	合成樹脂原材料の販売
今期売上計画	40億円



ポリスチレン成形品メーカー



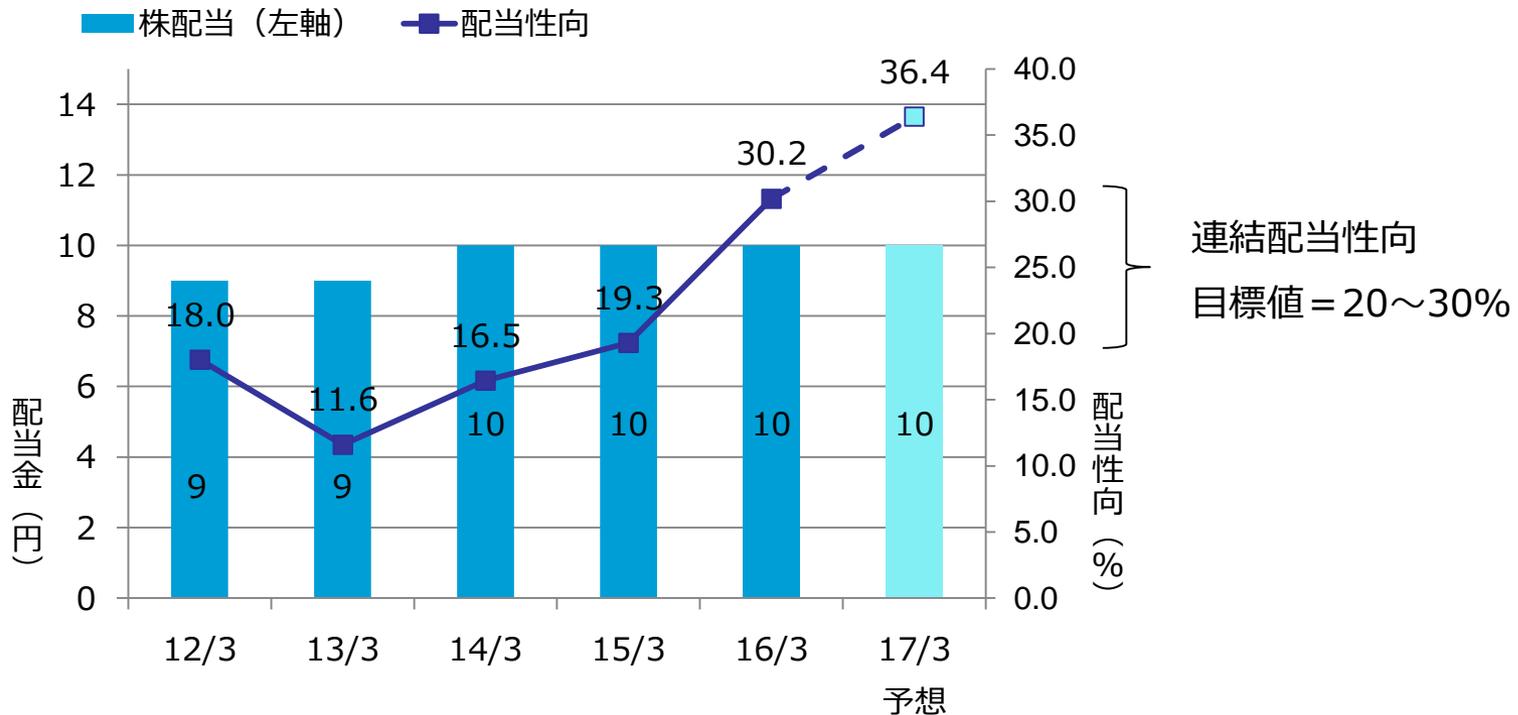
食品容器



建築資材

利益配分
 経営環境、業績、将来の事業展開を総合的に勘案

内部留保
 経営基盤の強化、研究開発等に有効活用



IRに関するお問合せ先：
カーリットホールディングス株式会社
広報部
電話：03-6893-7060
メール：pr@carlit.co.jp

本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2016年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。